

育の機能を高め、ひとりひとりの能力を最大限に発揮し、個人差に応じた教育——個別化教育——をいっそう推進していかなければならない。

〔施策の目標〕

- ア 視聴覚教材内容を研究し、その施設設備を充実して活用をはかる。
- イ プログラム学習やティーチングマシン等の機械を導入することによって、学習方法の訓練やたしかめの機能を学習に取り入れ、主体的な学習態度を身につけさせるとともに、学習指導の効率を高める。
- ウ 外国語教育にLLシステム（語学練習設備）を採用して、学習指導の改善につとめ、個人差に応ずる個別指導を徹底する。

〔事業計画〕

ア 教職員の研修事業計画

事業名	事業主体	昭和40～45年度		昭和46～50年度					
		事業内容・事業量	事業費	事業内容・事業量	事業費				
視聴覚教材研究会	県	対象人員 単年度計画 参加人員 会場 単年度事業経費 期間内の事業費	600名  150名 1会場 1,000千円 1,000×4	千円	4,000	対象人員 単年度計画 参加人員 会場 単年度事業経費 期間内の事業費	500名  100名 1会場 750千円 750×5	千円	3,750
プログラム学習講習会	県	対象人員 単年度計画 参加人員 会場 単年度事業経費 期間内の事業費	1,200名  300名 6会場 1,150千円 1,150×4	千円	4,600	対象人員 単年度計画 参加人員 会場 単年度事業経費 期間内の事業費	900名  180名 6会場 790千円 790×5	千円	3,950
ティーチングマシン講習会	県	対象人員 単年度計画 参加人員 会場 単年度事業経費 期間内の事業費	1,200名  300名 6会場 1,150千円 1,150×4	千円	4,600	対象人員 単年度計画 参加人員 会場 単年度事業経費 期間内の事業費	900名  180名 6会場 790千円 790×5	千円	3,950

イ 語学練習設備の設置

事業名	事業主体	昭和40～45年度		昭和46～50年度					
		事業内容・事業量	事業費	事業内容・事業量	事業費				
中学校語学練習設備の設置	市町村	中学校8校に設置 1校の設置費 全設置費	950千円 950×8	千円	760	中学校8校に設置 1校の設置費 全設置費	950千円 950×8	千円	760
高等学校語学練習設備の設置(完全設備)	県	高等学校4校に設備 1校の設備費 全設置費	2,500千円 2,500×4	千円	10,000	高等学校6校に設備 1校の設備費 全設置費	2,500千円 2,500×6	千円	15,000